



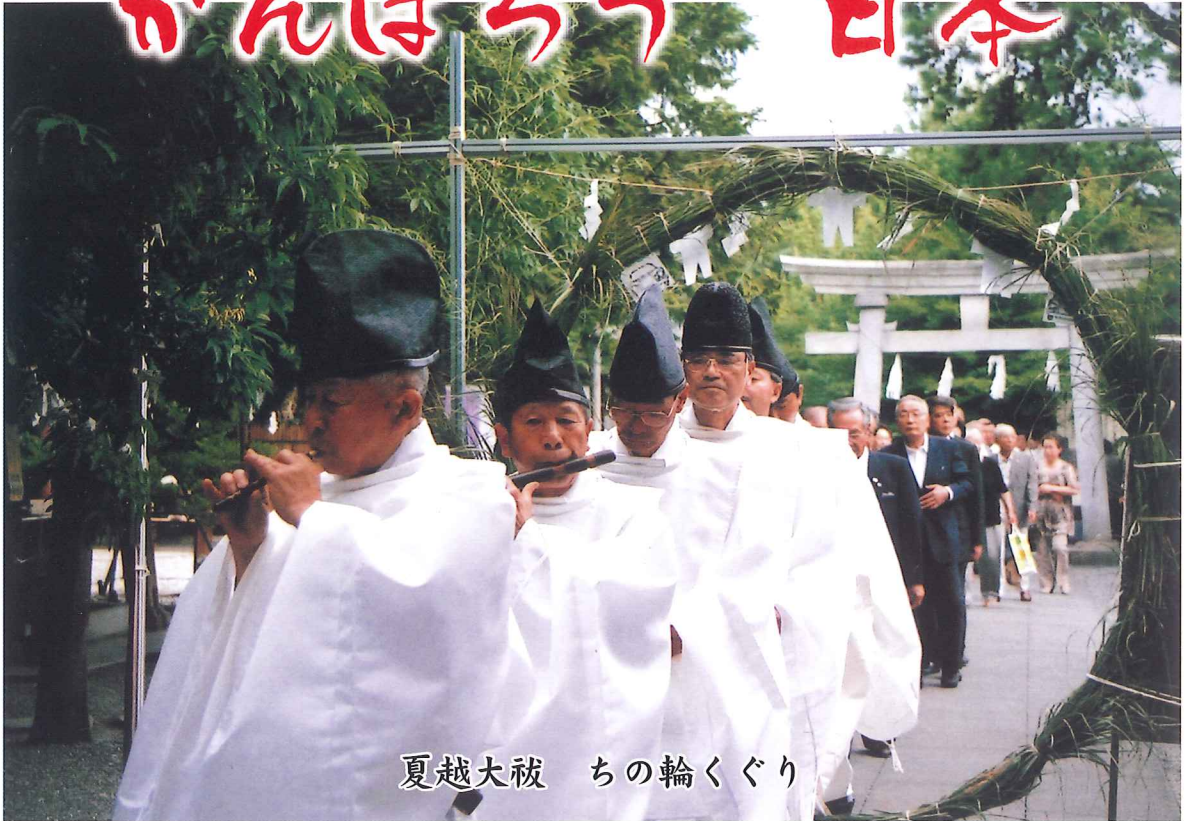
いなほ

稲積神社社報

第37号

平成24年5月3日発行

日本 がんばろう



夏越大祓 ちの輪くぐり

正ノ木例大祭式次第

定刻 手水の儀 参進

次 修祓の儀

次 宮司一拝

次 宮司御扉を開く

次 禰宜以下神饌を供す

次 宮司祝詞を奏す

次 献歌

次 玉串拝礼

次 撤饌

次 宮司遷御の祝詞を奏す

次 遷御

次 宮司発御の祝詞を奏す

次 宮司一拝

次 発御

平成二十四年度正ノ木例大祭神賑行事(予定)

五月二日(水)

献木祭 午前十時

甲府商工会議所(境内)

前夜祭 午後五時(社殿)

飯野のり子歌謡ショー

三日(木)

大祭 午前十時

御輿渡御 午前十一時〜午後四時

奉納相撲 午前十一時〜

バザー 午後十二時〜

カラオケ大会 午後六時〜

四日(金)

二ノ祭 午前九時

五日(土)

三ノ祭 午前九時

成就祭 午後五時



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮



祭り

宮司 根津泰昇

祭りとは豊穣への感謝と、命を繋ぐ万物への感謝の祈りを捧げる神事であり、目に見えぬ大切な神様の神徳高揚を図るのが祭りであります。

祭りには神事を中心とする形態の神幸祭(神輿渡御)、神事と地域文化を織り交ぜた八坂神社の祇園祭、長崎諏訪神社の長崎くんち、地域文化を継承するねぶた祭、竿灯祭、七夕祭があります。

当社の例大祭『正ノ木祭り』は神事を中心とする祭りです。『とっこいしよの正ノ木』さんは五月の三日の愛称で親しまれています。

この祭りは、農作業を始めるのを告げる祭りですから、縁日には、苗木や農機具のお店が多数軒を並べ、趣向の植木市や露店も多数出店し、県内外の参詣者で賑わう祭りです。

江戸時代には『千両祭り』と呼ばれ、千両の金銭が飛び交った事が想像できます。名残が現在の太鼓橋の袂に存在する『三葉の松』です。別名『金銭松』と呼ばれ、『財運』の御神徳があると伝えられています。

このように正ノ木祭りは、先人達に守られ、引き継がれ長い歴史を刻み継承されて参りました。

今年の「正ノ木祭り」は長い歴史の中で形態の変遷はありましたが、露天商が出店出来ない時代が到来致しました。社会環境のけじめでもありませんので、逆境する事は社会に反する行為と受け止めざるをえません。

総代始め、神社関係者と幾多の会議を持ち、新生『正ノ木祭り』を進める事を決意致しました。先達を守り伝えてきた、この祭りの行方を案ず

ると痛恨の思いです。

形態は変われど、同様にお店が出店し、将来を担う子供達に思い出作りの一端となる祭りになるか案ずる日々でした。

日を重ねるにつけ、多くの方々のご理解とご協力を得て百八十店程の出店のご依頼を頂きました。伊勢神宮の御縁を授かり、全国一の名品『赤福』さんが出店を決めて頂き正ノ木祭りの看板ともなりました。

大神様は常日頃神を敬う心を忘れず、神徳高揚を図る事を心掛れば、必ずしや手を差し伸べて下さる事でしょう。祭りは一人でも多くの方々に参加して頂き、共に手を取り合い、心を一つに合わせ団結することで形成されるものです。

祭りを通し、稲積神社の大神様は広大無限の御神徳をお頒ちいたします。崇敬者の方々にも幸多い御神徳がお授かりになります事を心よりご祈念申し上げております。

神社が行つご祈願 無事の完成をお守り下さい

地鎮祭

「とこしずめのまつり」や「じまつり」ともいわれ、家を建てる工事を始める前に、その土地を祓い清め、神さまに工事の安全と守護を祈るための、重要な建築のお祭りです。土地の神さまを敬い、使用の許しを得て、工事の安全と生活の平安を祈るといってお祭りは、まさに日本人の生活習慣における伝統や信仰に基づいたものといえるでしょう。



神さまへのご奉告

新築

家が完成して入居する際に行うお祭りです。新築の家を祓い清め、神さまに無事完成したことを奉告し、建物が永く丈夫であることと、そこに住む人々の繁栄を祈ります。最近では、地鎮祭のみ行うことが多くなってきたようですが、工事を見守つていただいた神さまに、無事の完成を奉告するのも大切なことです。



祭典行事歴

(五月〜十二月)

毎月一日	月始祭
三日	月次祭
十五日	神恩感謝祭
	古神礼
	焚上げ祭
五月二日	献木祭
	正ノ木大祭前夜祭
三日	正ノ木例大祭
四日	二之祭
五日	三之祭
	正ノ木大祭成就祭
六月十日	御田植祭
三十日	夏越大祓・万灯祭
七月十五日	瘡子社例祭
八月	富士ヶ嶺開拓祭
九月	崇敬会大祭
十月八日	金刀比羅神社例祭
	抜穂祭
	甲府伊勢講千社詣の旅
	東京スカイツリー展望
	国営ひたち海浜公園・笠間の菊まつり・茨城震災復興祈願
	一泊二日の旅
十一月二十三日	新嘗祭
十二月二日	境内清掃奉仕
三十一日	年越大祓

毎月一日、三日、十五日には

神社にお参り

しましょう!!

靖國神社参拝の旅

婦人部

北澤 梅子

風が冷たく春まだ遠い三月二十一日、山梨県護國神社を参拝し靖國神社へ向いました。

明治維新以降の国事で尊い命を落された二四六万余りの霊を合祀し業績を後世に伝えている靖國神社、間近での参拝に身が引き締る思いでした。

遊就館では、戦争で犠牲になつた多くの若者の写真を見ると胸がつまりました。

宗良親王の詠まれた

「君がため 世のため何が惜しからむ すててかえある命なりせば」 心に残りました。国の為命を捧げた多くの人々

のお陰様で今の平和な日本があり、私達は豊かさの中の生活に馴れ、ともすれば忘れがちになります。でも決して忘れてはならない事です。

今、生かされている幸を神仏に感謝し争い事を無くし、夫婦仲良く、家庭の和を保ち笑顔で人に接しそれが地域社会へと輪が広がって欲しいで

す。「折り合う 心がつくる

人の世で」 標語が浮かびます。

今度の参拝を通して改めて、自分自身をみつめ直す機会を与えて頂きました。

ありがとうございます。

継続は力なり

稲積睦 会長

長 馮 英 規

神輿会稲積睦が発足して十七年目になります。会員数は現在二十名余りで、男勝りの女子一名。皆いい奴らです。

初代清水会長の後を私が引き継ぎ早いもので二十二年が経ちます。これも器では無い私协会会员みなに支えられて来たから、だと思つていきます。

正の木祭りをメインに若い時は、浅草三社祭神田祭、鳥越神社、伊豆大島椿祭り等いろいろな所へ担ぎに行きました。現在は皆年を重ね家庭も出来たので山梨の祭り中心に活動をしています。

そして、三年前天皇陛下即位二十年奉祝事業として念願の宮神輿が新調されました。

宮内庁御用達浅草宮本卯之助

商店と御縁が有り、すばらしい

宮神輿を渡御することが出来る様になりました。これも神社の宮司さん始め、総代さん、神社外郭団体、その他神社関係者、地域の皆様のご理解には大変感謝しております。

また、稲積睦会のみんなの努力で二十四年間絶えることなく何事も無く正の木祭り神輿渡御を継続してきた賜だと思

います。そして、これを後世に繋げて行かなければなりません。これからも、私たちは伝統文化の継承と会員相互の融和を図り、微力ながら神社の発展と地域の活性に努めていき

境内散歩

○迷い子しるべ石

江戸時代のものであると言ひ伝えられる。

参詣者で賑わうため迷い子も多く迷い子の目印とした石、この石に迷い子がさわると神業が起り父母がた



ちどころにあらわれるといふ不思議な石。

お詫び

稲積神社甲府伊勢講

旅行実施予定日につきまして十月二十一日(日)〜二十二日(月)でご案内させて頂きましたが現在日程調整中ですので確定次第ご案内いたしますので御理解御協力程宜しくお願いいたします。

御案内

夏越大祓式

大祓は六月三十日と十二月三十一日の年二回、半年毎に全国の神社で行なわれる。

この大祓は、私たちが知らず知らずのうちに犯した罪汚れなどを祓い清める神事で、特に六月の祓は「夏越の祓する人は千歳の命延ぶ」と謳われているように「ちの輪」をくぐり邪気を祓い暑い夏を元気で過ごせるように願いが込められている。

当社でも六月三十日午後五時に斎行致しますので是非御家族お揃いで御参列下さい。詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。



第47回 稲積神社甲府伊勢講

東京スカイツリー展望

大洗磯前神社・笠間稲荷神社参拝

国営ひたち海浜公園・笠間の菊まつり・茨城震災復興祈願の旅1泊2日

◎旅行実施予定日 平成24年10月 ◎募集人員 120名 (最少催行人員80名)

◎旅行代金 おひとり様 ¥29,500 (初穂料含む)

東京スカイツリー



◎行 程

甲府各地	中央高速～首都高速	東京スカイツリー展望～スカイツリータウン散策	(食事)
両国(昼食：和洋バイキング)	首都高速～常盤自動車道	大洗磯前神社(正式参拝)	昼
大洗海岸(泊)			夕
大洗海岸	国営ひたち海浜公園	那珂湊漁港(海産物ショッピング～昼食)	
北関東道	笠間稲荷神社(正式参拝～笠間菊まつり)	北関東道～関越道～圏央道	朝
中央高速	甲府各地		昼

※交通事情等の関係や参拝神社の都合により行程が変更になる場合もございます。

大洗磯前神社



笠間稲荷神社



笠間の菊まつり



ひたち海浜公



平成二十四年 恵方参りの旅

土肥 東宮



凍てつく寒さの二月十二日、十三日恵方参りの旅へ出掛けました。本年の恵方は北北東、新潟県上越・居多神社の参拝です。中央道から上越自動車道に進むと甲府とは別世界の雪景色に包まれました。昼頃居多神社に到着。一面雪に覆われた社殿は、昨年新しく竣工された社殿は、より一層清々しい佇いでした。花ヶ前盛明宮司様より神社は式内社で越後一宮の称号を得、境内には有名な片葉の葦(親鸞七不思議で、葉が片方のみ)があること。また宮司様自身が史学者で、上杉謙信公につき深く研究され、戦国の世ならば武田信玄公陣営の私共の前では遠慮気味ながら謙信公論を熱く語られました。

その夜は、富山の永見名物である鱒料理に舌鼓し、カラオケで盛り上がり、温泉で癒されて楽しい一夜を過ごすことができました。

二日目、新鮮なお魚達と富山のお菓をお土産に雪道

を突き進み帰路につきました。本年の恵方参りは、お一人でご奉仕なされている居多神社の宮司様の温みと、大神様の御神慮をいただきました。そして、日本の安泰を無心に祈る旅でありました。今年一年を無事に過ごし、来年の恵方参りも参加できますように！

この度、甲府市住吉在住の丹沢孝雄氏が「学問の木」と呼ばれる『楷の木』を境内に鎮座する天満天神社に献木奉納された。

楷の木(学問の木)

この楷の木は、大正四年白沢保美博士が中国の孔子廟から種子を採取したもので、それを日本国内の孔子や儒学にゆかりのある学校などに献木した。

以来、「学問の木」と呼ばれるようになり、この度学問の神さまとして信仰される天満天神社に献木された。



編集後記

○思うように進まない復興の足枷にガレキ処理がある。ガンバレ日本の掛け声も必要だが、共に痛みを分つべく山梨も首長が英断をもつて受け入れて欲しいものだ。

○いつもの屋台の風景がない縁日も様変わり、不易流行なにが変えているのか穿ってみてしまおう小生である。

○今号で編集担当が変わりました。長い間ありがとうございました。(秋)

訂正

「いなほ」第三六号(平成二十四年一月一日発行)に次の通り誤りがありました。

四頁二段落

- (誤) 小泉英巳・克子
 - (正) 小泉英巳・勝子
 - (誤) 高嶋稔雄・太郎
 - (正) 高嶋稔・雄太郎
- ここに謹んでお詫び申し上げますと共に訂正致します。

稲積神社

命継ぐ食もの衣もの住むいへも 稲荷の神の恵みなりけり

甲府市太田町公園内鎮座 電話 (055) 233-5573 FAX (055) 226-0787